

# 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 吹田総合車両所 環境方針

## 1. JR西日本の基本的な考え方

- JR西日本は、グループ会社と一体となって地球環境保護に取り組み、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。
- (1) 私たちは、地球環境にやさしい企業グループを目指し、資源の適正かつ有効な活用を図ります。
  - (2) 私たちは、地球環境保護のために、技術開発や創意工夫に努めます。
  - (3) 私たちは、常に地球環境保護を意識して行動します。

## 2. 吹田総合車両所全体(京都、森ノ宮、奈良、日根野支所を含む)の方針

吹田総合車両所(以下、車両所という)は、お客様に「安全・安定・おもてなし」を提供するため、車両の点検、整備、改良を日々続けています。

私たちは、「JR西日本の地球環境に対する基本的な考え方」及び「私たちができる考動エコ」を、グループ会社と共に自ら考え実践します。また、当車両所におけるミッションの一つである「労働安全に関するリスク低減」と「地球環境保護」に車両所全員の参画で永続的に取り組み、その成果を全員で実感することで更なる環境改善に繋げ、社会から信頼される事業所となることを目指します。

## 3. 吹田総合車両所(本所)の方針(以下吹田市目俣町1-1の事業所のみ適用する)

- (1) 鉄道という省エネルギー性に優れた輸送機関の特性を最大限発揮するために、高品質でお客様に喜ばれる車両を提供するとともに、効率のよい車両保全に努めます。
- (2) 車両所の事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、関連する環境の法規制及び車両所が同意するその他の要求事項を順守し、環境パフォーマンスを向上させるために、技術上・財政上・事業上・運用上可能な範囲で継続的に改善活動を行なうことにより、一層の環境汚染予防及び環境保護に努め、ステークホルダーの期待に応えます。  
注記 環境保護とは、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含む。
- (3) 全従業員一体となった環境保護活動を推進するため、この環境方針を文書化して、車両所で働く又は車両所のために働く全ての人に周知徹底を図るとともに、環境教育・所内報・掲示板などを活用し、環境情報を共有化します。
- (4) この環境方針については、車両所内外に印刷物等により開示し、一般の人であっても常に閲覧・入手は可能なものとします。
- (5) 車両所の環境改善重点課題として次の事項を指定し、これについて環境目標を設定し、活動を推進するとともに、見直しを行いません。

## 4. 重点取り組み事項

- (1) 汚染物質の削減  
有害化学物質のトルエン・キシレンを含まない塗料(TXフリー塗料)や水性塗料を適用し、有機溶剤(第2種・第3種)の削減を行います。また、有機溶剤を含まない代替パテの実用化に向けた検討を行い、作業環境の安全性向上ならびに環境負荷の低減を目指します。なお、PCB廃棄物は計画的な処理を実施し、保管量の削減を推進します。
- (2) 省エネルギーの推進  
今後計画されている吹田総合車両所の設備近代化と合わせて、省エネ活動の推進と所内で使用する電気・灯油・ガソリンについては、操業状態に応じた使用量の記録及び監視を行なうとともに、省エネ技術の導入を検討し、地球温暖化の原因となるCO2排出量の記録及び監視に努めます。また、設備の保守を通じた身近な省エネ活動も推進します。
- (3) 省資源及びリサイクル活動の推進  
会議等でのOA機器の活用や業務で使用する用紙のリデュース、廃紙のリユース等に取り組み、資源の有効活用を推進します。また、事業活動に伴い発生する廃棄物は、車両所の分別ルールを基に一人ひとりが主役となって分別回収を行ない、廃油、廃プラスチック等の品目及び排出量を管理するとともに、適正な処理とリサイクルを推進します。
- (4) 有益な環境活動の推進  
5S活動や設備の自主修繕、景観の整備を継続的に進め、車両所内の環境改善を図るとともに、労災防止や車両品質向上の取り組みを通じて労働環境改善や働き甲斐の醸成を図ります。また、車両所見学の受入、周辺地域での環境保護活動を行なうことにより地域から喜ばれる車両所を目指します。そして、お客様に満足してご利用頂くために車両のリニューアルを行い、快適で故障のない安心感のある車両の提供を推進します。

2019年4月1日

西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 吹田総合車両所

所長 辻本直弘